

香港交易及結算所および香港証券取引所は、この発表の内容に関して責任を有しておらず、その正確性または完全性に関して何らの表示をすることもなく、この発表の全てまたは一部から生じる、もしくは依拠するいかなる損失についても、何らの責務がないことを表明します。



株式会社ニラク・ジー・シー・ホールディングス
NIRAKU GC HOLDINGS, INC.*

(有限責任会社として日本で設立)
(証券コード：1245)

プロフィット・ウォーニング

この発表は、香港証券取引所における上場規則（以下「上場規則」といいます）13.09 および（香港法第571章）証券先物条例パートXIVAに基づく内部情報に関する条項（上場規則に基づき定義されている通り）に従い、株式会社ニラク・ジー・シー・ホールディングス*（以下「当社」といい、子会社を伴うときには「当グループ」といいます）が行うものです。

当社の取締役会（以下「取締役会」といいます）は、当社の株主および潜在的な投資家のみなさまに対して、2015年9月末までの半年間における監査前の当グループ連結経営管理決算書を事前審査した結果、当グループが、2014年9月末までの半年間に9億3,700万円の税引き後純利益を計上していたのに対し、当該期間では7,000万円以上の税引き後純損失を計上する見込みであることをご報告いたします。これについては、以下の事柄が主な要因となっています。

1. 前年同期比で機械費用がおよそ8億700万円増加。このうち、(i) 約4億4,900万円が、2015年4月に開店した2店舗の1,213台のパチンコ機とパチスロ機の購入および取り付けにかかった費用、ならびに(ii) 約3億5,800万円が、当初2016年3月末までの半年間に予定されていた店舗におけるパチンコ機とパチスロ機の入れ替えにかかった費用。こうした機械に対する支出は、今年度下期における店舗利用者数の増加を視野に入れて前倒しされました。

*名称を明示する目的のために使用しています。

本書は、英語の原文を参考のために日本語訳したものです。日本語版と英語版に相違がある場合は英語版が正しいとみなされます。翻訳による誤解はいかなる場合においても株式会社ニラク・ジー・シー・ホールディングスの責任とはされませんのでご了承下さい。

2. 当該期間内に香港証券取引所メインボードへ株式上場したことに関連し、およそ 2 億 1,100 万円の費用の認識

当社の取締役は、2015 年 4 月に 2 店舗が新規に開店したにもかかわらず、当グループが、当該期間に前年同期比で経営管理決算書において売上高が 0.8%拡大したのみであったことにも留意しました。

当社は引き続き、当グループの当該期間における監査前の連結業績をまとめ上げる過程にあります。この業績下方修正の発表は、あくまでも取締役会による監査前の当グループ連結経営管理決算書の事前査定に基づくものであり、当該決算書については最終的な取りまとめがなされなければならない、また必要であれば、その他の調整の可能性があり、当社の監査人によって確認および監査されているわけではありません。当社の株主および潜在的な投資家のみなさまには、2015 年 11 月 27 日に発表を予定している、2015 年 9 月末までの当社の中間決算報告書を熟読していただくようお願いいたします。

当社の株主および潜在的な投資家のみなさまには、当社株式を取引する際に注意していただくようお願い申し上げます。

取締役会を代表して
株式会社ニラク・ジー・シー・ホールディングス
NIRAKU GC HOLDINGS, INC.*

谷口久徳

(JEONG Seonggi)

取締役会議長、執行取締役 兼 最高経営責任者

2015 年 10 月 13 日 日本国福島県

この発表時点において、当社の執行取締役は谷口久徳 (JEONG Seonggi)、独立非業務執行取締役は森田弘昭、中山宣男、東郷正春、熊本浩明です。

*名称を明示する目的のために使用しています。